

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市立病院職員健康管理事業			事業コード	1611
担当課等	所属名	市立病院 [病院]総務課		担当係名	
	課長名	市立病院 総務課	担当者名	市立病院 総務課	電話番号 694-2345

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	地域をリードする医療体制の確立	コード 2
	基本事業	市立病院の健全経営	コード 2	関連予算 費目名	病院事業会計 1款 1項 3目 厚生福利費(310-10)	
	特記事項					
事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度					
事務事業の概要	労働安全衛生法、市立病院企業職員安全衛生管理規程に基づき、職員の健康診断を行うとともに、院内感染防止を含めた健康管理に努める。					
根拠法令等	労働安全衛生法等					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
労働安全衛生法の規定による事業者の責務として、病院開設時から職員の健康管理のため、ひいては患者さんの安全のため実施されてきた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
関係機関(保健所)より医師の健康診断の受診率の向上に努めるよう指導があった。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
新たな感染症等に対する対応が必要となる可能性がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市立病院に勤務する全職員とする。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市立病院に勤務する全職員 B. C.	単位 人 単位 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①各種健康診断に係る実施の周知、受診票等の配付、受付、診断結果通知など。 ②安全衛生委員会の開催 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年度同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 健康診断の実施件数 B. 安全衛生委員会の開催回数 C.	単位 回 単位 回 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	職員の健康診断の受診率の向上を図り、健康管理意識の高揚を促すとともに、有所見率の低減を図ることで、職員が心身ともに健康になることにより、患者さんに安心感を与え、安全で質の高い医療サービスを安定的に提供する病院をつくる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 循環器健康診断の受診率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 有所見率(C判定) 【指標の性格: ○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 % 単位 % 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に経営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	医療収益(一般会計負担金を除く。)(単位:千円) 純損益(単位:千円) 経常収支比率(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市立病院に勤務する全職員	人	202	200	200	200	200	200	27年度 200
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	健康診断の実施件数	回	10	10	10	10	10	10	27年度 10
活動 指標B	安全衛生委員会の開催回数	回	1	2	2	2	2	2	27年度 2
活動 指標C									年度
成果 指標A	循環器健康診断の受診率	%	94.7	92.0	95.0	93.7	94.7	94.7	27年度 94.7
成果 指標B	有所見率(C判定)	%	26.0	24.9	24.9	27.5	26.0	26.0	27年度 26.0
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	645	676	890	617	818	818	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	645	676	890	617	818	818	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	645	676	890	617	818	818	*****
	延べ業務時間数	時間	159	185	185	165	185	185	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	636	740	740	660	740	740	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,281	1,416	1,630	1,277	1,558	1,558	*****

3. 事務事業の評価(See)

有効性評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
その内容:未受診者に対しては、受診を個別に促すとともに、有所見者に対しては病院という特性を生かした健康管理や事後指導等を行う。			
効率性評価	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由:事業費を削減するには検診項目や対象者を減らすしかなく、意図を絞ることとなる。院内感染対策については、新たに経費が必要となる場合も考えられる。			
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由:必要最小限の人件費で実施しているため。			

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 検診未受診者への受診促進及び有所見者の事後指導を強化。時間外勤務の縮減意識、職員自身の健康管理意識の向上。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 診療と健康診断受診の時間調整が難しい環境であるが、産業医等との連携を図り健康指導等の充実を図る。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)評価結果 ① 有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり : ② :効率性 <input checked="" type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 見直し余地あり		(2)全体総括(振り返り, 反省点) 労働安全衛生法及び市立病院企業職員安全衛生管理規定に基づき、病院職員の健康診断を行うとともに、院内感染防止を含めた健康管理に努めているものであるが、受診率が計画を下回る状況にある。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携		
			
方向付けの理由と改革改善の内容 職員の健康管理のためには健康診断の受診率を向上させる必要があることから、未受診者に対する個別指導とともに、受診しやすい環境の確保等を行い、受診率の向上を図る。			